

テレビ新広島アナウンサーによる講演会とライブトークを開催 ～女性がもっと活躍できる職場を目指して～

中国地方整備局

くらしで
ミーティング 

- 女性がもっと輝き、活躍できる中国地方整備局を目指し、くらしでミーティングプレゼンツの女性講演会(H27.7.29)を開催。
- 女性職員をはじめ、男性職員及びリクルート活動中の学生(116名(女性66名、男性50名、学生12名))が参加。
- 女子学生と事務・技術の女性職員によるライブトークを開催。女子学生と女性職員の情報共有、ネットワークを形成。

【挨拶】「女性職員活躍とワークライフバランス(以下、WLB)」について認識を共有し自ら取り組んで行く事が重要とのメッセージを発信。

講演会「アナウンサーから見た国土交通省、WLB」【講師】石井百恵氏
(テレビ新広島TSSアナウンサー※フジテレビ系列)

坂本副局長挨拶

- アナウンサーの仕事と結婚・出産について自らの経験を紹介。国土交通省の仕事の重要性・期待について解りやすく説明。ワークライフバランスの職場環境のヒントなどを講演いただいた。
 - ・ 広島土砂災害の現場取材では、テックフォースなどの活躍が、凄かった。報道としても、良い取組は、もっと伝えていく必要がある。
 - ・ WLBについて「正解」はない。それぞれの人にあった働き方ができる職場環境を目指す必要がある。
 - ・ 子どもがいない女性についても周囲は気を使う意識が必要。
- 【職員の感想】結婚、出産や仕事についての考え方など、非常にわかりやすく、共感できる部分が沢山あり、今後に活かしていきたい。



TSSアナウンサー
石井百恵さん

講演状況



講演に耳を傾ける職員(女性職員、管理職等)

女子学生と女子職員によるライブトーク

- 小グループに分かれ、現状の職場環境や仕事と家庭の両立などについて意見交換。
- 【女子学生の感想】○女性職員はととても明るく、活気があると感じました。
- 結婚・出産後も働きたいと思っており、実際に働いている職員の方とお話することができ、将来の姿が想像できました。
 - 中国地方整備局で働きたいという思いが一層強くなりました。



ライブトークの様子

土木学会全国大会プレイベント「おかやまNEXT100年 ～未来をつくる君たちへ～」の開催



- 平成27年9月13日（日）に、岡山市立市民文化ホール（岡山県岡山市）において、平成27年度土木学会全国大会プレイベント「おかやまNEXT100年～未来をつくる君たちへ～」を開催。
- 「100年後の『自分たちの住むまち』」をテーマとしたイラスト作品（13作品）について、未来を担う岡山県内の小学校5・6年生、中学生、高校生から発表をいただき、表彰を実施。
- 「土木のしごとから考える私たちの暮らし」と題し、女性技術者によるトークセッションを実施し、こどもたちを含む聴講者に対し、土木の役割や魅力について発信。（くらしてミーティングプレゼンツ）

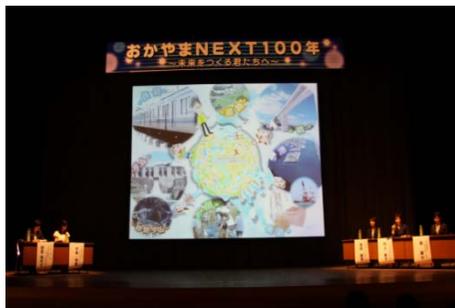
- ◆日時：平成27年9月13日（日）13:00～16:30
- ◆会場：岡山市立市民文化ホール（岡山県岡山市中区小橋町）
【主催】国土交通省中国地方整備局、岡山県、岡山市、岡山大学、（公社）土木学会中国支部
【後援】岡山県教育委員会、（一社）中国建設弘済会、報道各社
- ◆実施内容：おかやまNEXT100年コンテスト・作品発表会及び表彰式、女性技術者によるトークセッション
- ◆参加者：約100名



発表する小学生



グループで発表する高校生



女性技術者によるトークセッション



仕事の紹介をしながら土木について説明。



会場内に体験コーナーを設置

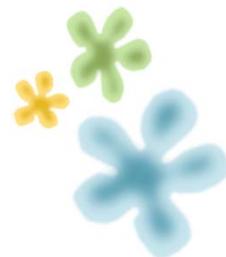
ここでも女性技官が活躍！



左：田宮 鳥取河川国道事務所長
（コーディネーター）
右：中島 テレビせとうちアナウンサー
（コメンテーター）



トークセッション参加者
左：窪田氏（株）ウエスコ
中央：村上氏（土木技術者女性の会）
右：晃係長（三次国道出張所）



めりえ

パネル展示・PR

産・学・官の女性技術者で意見交換会(H27.11.13)

- ❑ 産・学・官それぞれの立場で、活躍の幅を広げられる貴重な意見交換の場とすることを目的として、平成27年11月13日に産・学・官の女性技術者で意見交換会を開催。
- ❑ 土木技術者女性の会会員10名、広島大学学生7名、整備局技術系女性職員5名の計22名が参加し、報道にも大きく取り上げられた。

意見交換会の概要

- 冒頭、野田企画部長から「女性技術者へ意見交換による積極的な提案や期待」等、参加者に向けメッセージを発信（NHKでも放映）
- 国の施策(女性技術者の登用状況、環境整備等)、女性活躍への取り組み、民間企業で女性を増やすための取り組みを説明し、意見交換。
- 就職選びの際に気をつけること、仕事のやりがい、土木分野で女性が活躍するために必要なこと、ワークライフバランス、女性の視点からの観光など地域活性化を考える。
- 会場でポスターを掲示し情報共有を行った。
- NHK、中国新聞、読売新聞、業界紙4社が取材。

主な意見

[土木技術者女性の会]

- 5年で一人前の技能者は育たない。もっと長い目で見て10年、20年働けば女性技術者は育つという環境が重要。
- トイレが不便だと、体調不良になる人もいる。国などで、現場の女性用トイレの設置を契約時等に示してもらえると設置しやすい。
- 女性がキャリアを積むためには、職場の男性の理解が不可欠
- 妊娠したら直ぐに上司に報告した方が双方によって良い。出産前の体を大切にすることにもつながる。

など女性にしか分からない意見がありました。

[整備局]

- インフラの魅力を発信するため、女性の感性を活かした取組を行う。
- 産休や育休などの制度も充実してきている。男性も積極的に活用して貰いたい。



 意見交換会の様子 



 集合写真 



 NHKおはようちゅうごく(11.14) 



 中国新聞 
23面(11.14)

[女子学生]

- 女性技術者の先輩方の活躍を聞いて、今後の仕事に活かせると感じました。
- 実際に働く方々の貴重な意見や子育てなどの話が聞けて、安心しました。

しまね建設産業イメージアップ女子会との意見交換会(H27.11.27) ～女子会作成のカレンダーを局長へ贈呈～



中国地整
企画部・建政部

- しまね建設産業イメージアップ女子会（以下、女子会）が丸山局長を表敬訪問し、女性技術者をモデルに起用した『建設産業イメージアップカレンダー2016』の贈呈を行いました。このカレンダーは、国土交通省の「もっと女性が活躍できる建設業」地域協働推進事業の選定を受けて制作しています。
- 女子会と整備局のくらしでミーティングの取組を互いに紹介し、意見交換を行いました。女子会から5名（事務局含む）、整備局職員5名（局長含む）が参加し、報道も取材に訪れていました。

意見交換会の概要

- 冒頭、女子会から局長へカレンダーの贈呈（3作目）
- 女子会とくらしでミーティングの活動を互いに紹介し、活発な意見交換を行いました。
- 日経新聞、時事通信社など6社が取材。
- 局長・建政部長と意見交換参加者による記念撮影。



意見交換会の様子



【くらしでミーティング活動報告資料】



カレンダー贈呈(女子会から局長へ)



【女子会カレンダーPR資料】



集合写真



【くらしでミーティング活動報告資料】

主な意見

【女子会】

- 女子会メンバーと交流会参加者でアロママッサージを開催し、仕事や生活について意見交換を行った。→交流会を行うことで、アイデアも浮かぶ。
- しまねUIターンフェアに参加し、建設業に関するアドバイス等を行った。→島根で働きたいと思う女性と意見交換が出来た。
- 今後は、出前講座を通じて、土木の魅力を発信していきたい。
- カレンダーモデルのプロフィールをまとめた「しまね図鑑」を作成し、魅力伝えたい

【整備局】

- インフラの魅力を発信するため、女性の感性を活かした取組を行う。
- インフラの魅力発信に積極的に取り組まれているので、今後連携・協力して取り組みたい。
- 活動を進めるには、周囲や上司の方の見守る姿勢が重要。

【局長】

- 皆さん明るく前向きに取り組まれており、自分たちで何とかしよう姿勢の表れだと感心しました。出来ることがあれば、何でもお手伝いさせていただきます。

女性の視点で河川空間の利用を考えます！

しまねイメージアップ女子会×くらしでミーティング勉強会(H28.1.28~29)



中国地整
企画部

- ❑ 昨年、国土交通省と建設業5団体で策定した「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」では、「女性の活躍が、更なる女性の活躍を生む『好循環』へ導く」としています。この度、中国地方整備局では、しまね建設産業イメージアップ女子会との勉強会を行いました。女子会から9名（事務局含む）、整備局職員（くらしでミーティングボードメンバー）6名が参加しました。
- ❑ 広島市と同じく「水の都」を目指す松江市でも河川空間の利用を考える動きがあることから、水辺に新たな魅力を創り出すため、民間のノウハウや活力を導入した広島市の「水辺のオープンカフェ」やイベントなどを行う「親水護岸」を視察し、参考としていただきました。

勉強会の概要

- 1日目は、女子会と整備局のくらしでミーティングの取組を互いに紹介し、今後の取組や職場での現状についてなど、活発な意見交換を行いました。
- 2日目は、“建設現場における現場環境の整備”の試行対象となっている「天満川舟入本町地区外高潮堤防工事」の現場見学、元安川の親水護岸・オープンカフェ視察を実施しました。
- 中建日報が取材。



仮設トイレについて
質問している様子



元安川の親水護岸の説明の様子



集合写真



【視察現場】



目隠しフェンスのある
男女別の仮設トイレ



水辺のオープンカフェ視察状況

主な意見

- 今後の活動を進めるにあたって、先進的な取組をされている、くらしでミーティングのこれまでの流れを聞くことが出来てとても参考になった。
- 目隠しフェンスのある仮設トイレを視察して、とてもきれいだった。このような仮設トイレが広まれば、コンビニのトイレと同じように地域の方から利用してもらえる設備の一つになる可能性があると感じた。
- 河川空間の利用についての説明を受けて、松江市でも同様の河川利用空間ができればと感じた。

